



2023 年度 経営史学会第 59 回全国大会

熊本学園大学 新 1 号館

◆受付

12月2日(土) 9:00～15:30 新1号館 スチューデントコモンズ

12月3日(日) 9:00～14:00 新1号館 スチューデントコモンズ

◆昼食・休憩

弁当を手配しませんので各自でご用意ください。

なお、両日ともに7号館レストランは営業外ですが、学内のローソンは営業中です。

昼食・休憩の会場としては新1号館 スチューデントコモンズをご利用ください。

◆懇親会

12月2日(土) 17:00～18:30 7号館レストラン

感染症対策（開催校の現時点での方針）

- ・石鹸やアルコール消毒液等による手洗いの徹底と健康状態のセルフチェックをお願いします。
- ・必要な場面での正しいマスクの着用（マスク着用は個人の判断）をお願いします。

発行：経営史学会第 59 回全国大会実行委員会

大会プログラム

第1日目～第2日目

第1日目：12月2日(土)

午前の部

会場	第1会場 (131教室)	第2会場 (132教室)	第3会場 (133教室)	第4会場 (141教室)
	自由論題報告 (ショートセッション)			自由論題報告 (ロングセッション)
司会者	粕谷 誠 (東京大学)	佐藤 秀昭 (大阪大学)	菊池 航 (立教大学)	金 容度 (法政大学)
9:30 ～ 9:55	①	李 建儒 (一橋大学) 百貨店の国際的な戦略的提携史－台湾における新光三越の事例研究－	辻 智佐子 (城西大学) 1960年代から1980年代の工業系公設試験研究機関の機能と役割：愛媛県染織試験場を中心に	坂本 義和 (日本大学) 1980年代における台湾自転車産業の展開～Giant社の企業行動を中心に～
10:00 ～ 10:25	②	倉元 貴子 (多摩大学 院) 常石造船のイノベーションの歴史－「革新的企業の経営行動」の観点から－	矢島 ショーン (東京大学 院) 産業規制メカニズムとしての「公開性」：20世紀初頭ドイツのカルテル政策論争をめぐって	市 悠太郎 (一橋大学 院) 溶液重合スチレンブタジエンゴム業界における事業推進プロセスとその後の競争優位への影響－日本企業4社の横断的分析－
10:30 ～ 10:55	③	水田 正史 (大阪商業大学) 英露の在外銀行とイラン北東部・中央アジアの為替と金融	横江 良祐 (日本学術振興会 特別研究員) 産業による医学研究助成の政策的背景：1980年代イギリスにおけるビール産業団体とアルコール性肝疾患研究を中心に	石崎 啓太 (一橋大学 院) 国内林業・木材産業の再成長－王子ホールディングスによる資源環境ビジネス収益化の歴史(1990-2020)－
11:00 ～ 11:25	④	古賀 大介 (山口大学) 第一次大戦後のイギリス大手銀行における「外国部」の拡大と人事－採用と処遇にみる人材確保の苦闘	野村 淳磨 (一橋大学 院) 産業政策の意図せざる結果とそれを逆用した経営戦略－石油化学産業を題材にして－	長谷部 弘道 (日本大学) 三菱電機における経営者教育の展開：1948年から1975年までを中心に
昼休憩 (11:25～12:25)				

第1日目：12月2日(土)

午後の部

会場	第1会場(131教室)	第2会場(132教室)	第3会場(133教室)	第4会場(141教室)	第5会場(121教室)
自由論題報告 (ロングセッション)					
司会者	島西 智輝(立教大学)	中村 尚史(東京大学)	大石 直樹(埼玉大学)	清水 剛(東京大学)	平尾 毅(京都橘大学)
12:25 ～ 13:20	① 大島 久幸 (高千穂大学) 中林 真幸 (東京大学) 日本における女性事務職の形成	粕谷 誠 (東京大学) 19世紀前半における三井両替店の経営動向：貸出を中心に	小杉 亮介 (三菱経済研究所) 明治期から昭和初期における中規模醸造業者の味噌生産・販売—青森県上北郡野辺地町・野坂常吉家を事例に—	松浦 陽子 (明治大学) 19世紀イギリス協同組合経営の分岐点とは？—1862年産業節約組合法改正における有限責任制度の再要請をめぐって	西村 成弘 (関西大学) 近代日本の工業化における外国技術導入のインパクト—特許の存続期間による分析—
13:25 ～ 14:20	② 北澤 満 (九州大学) 戦後復興期における炭鉱経営—三菱鉱業株式会社の北海道諸炭鉱を中心に—	段 智悟 (関西大学 院) 戦間期の横浜正金銀行上海支店の営業活動について	古谷 悠真 (東京海洋大学 院) 第一次世界大戦期の遠洋漁業と水産物輸出：日本漁業株式会社の経営とタラ製品の輸出を中心に	山崎 敏夫 (立命館大学) 銀行業、保険業の大企業の人的結合と「ドイツ株式会社」	李 洪峰 (東京大学 院) 近代大連におけるタクシー企業の経営形態と雇用関係—1934年大連タクシー同盟争議を巡って—
14:25 ～ 15:20	③ 堤 悦子 (北海商科大学) 北海道の非営利事業史から考察する企業組織内のヒトの育成—函館・札幌における非営利法人の収益事業例を中心に—	佐藤 秀昭 (大阪大学) 三和銀行の設立 大口貸出先と担保の分析を中心として		吉川 英輝 (京都大学 院) 米国エイズ危機下のヘルスケア産業：理念の衝突と医療技術の伝播	
会場	121教室				
15:30 ～ 16:05	特別講演 Leslie Hannah (FBA, London School of Economics) The Rockefeller Foundation and Harvard's Research Center in Entrepreneurial History 1948-1958: Source of Mistakes in Internationally Comparative Business History?				
会場	121教室				
16:10 ～ 16:50	会員総会				
会場	7号館レストラン				
17:00 ～ 18:30	懇親会				

第2日目：12月3日(日)

午前の部

会場	121 教室		
9:30 ～ 12:30	<p style="text-align: center;">統一論題 産業遺産と経営史</p> <p>【オーガナイザー】 【基調報告】 【報告者】 【コメンテーター】</p> <p>幸田 亮一（熊本学園大学） 鈴木 淳（東京大学） 木村 至聖（甲南女子大学） 中村 尚史（東京大学）</p> <p>稲葉 和也（山口大学）</p> <p>【司会者】 市原 猛志（熊本学園大学）</p> <p>三嶋 恒平（慶応義塾大学）</p>		

昼休憩（12:30～13:30）

午後の部

会場	第1会場（131 教室）	第2会場（132 教室）	第3会場（133 教室）
パネルセッション			
13:30 ～ 16:30	<p>第二次大戦後の産学連携通史のミッションリンクー1960-70年代を中心にー</p> <p>【オーガナイザー】 金井 昌宏（学校法人明治大学）</p> <p>【司会者】 内海 京久（富士フィルム株式会社）</p> <p>【報告者】 金井 昌宏（学校法人明治大学） 内海 京久（富士フィルム株式会社） 石川 雅敏（ノースアジア大学）</p> <p>【コメンテーター】 平本 厚（東北大学） 沢井 実（南山大学）</p>	<p>戦前・戦時の企業価値・株主価値：コーポレート・ファイナンスからのアプローチ</p> <p>【オーガナイザー・司会者】 川本 真哉（南山大学）</p> <p>【報告者】 太田 達也（明治大学大学院商学研究科） 三和 裕美子（明治大学） 川本 真哉（南山大学） 宮島 英昭（早稲田大学） 平山 賢一（東京海上アセットマネジメント株式会社）</p> <p>【コメンテーター】 結城 武延（東北大学） 大石 直樹（埼玉大学）</p>	<p>農商務省「海外実業練習生」制度とは何だったのか</p> <p>【オーガナイザー】 木山 実（関西学院大学）</p> <p>【司会者】 大島 久幸（高千穂大学）</p> <p>【報告者】 木山 実（関西学院大学） 大森 一宏（駿河台大学） 高橋 周（東京海洋大学） 藤田 幸敏（福井工業大学） 橋野 知子（神戸大学）</p> <p>【コメンテーター】 菅山 真次（東北学院大学）</p>

大会 1 日目 特別講演

Leslie Hannah 教授の紹介

湯沢 威（経営史学会元会長）

ハンナ教授については、雑誌 *Business History* 第 61 巻 3 号 (2019) がハンナ教授記念号として、教授に関する詳細な紹介を掲載しています。ここでは私の主観に基づき、とくに日本との関連でハンナ教授について紹介いたします。

ハンナ教授は、現在 76 歳で London School of Economics の名誉教授であるとともに、2009 年に Fellow of British Academy (FBA) に推挙され、また現在は東京大学経済学部の visiting scholar でもあります。

ハンナ教授は 1969 年 Oxford の St. John's College に学位論文を提出され、それはのちに、*The Rise of the Corporate Economy* として出版されました。日本では『大企業経済の興隆』（湯沢威・後藤伸訳）東洋経済新報社 1987 として紹介されています。1978 年にロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE) 内に新設された経営史研究所 (Business History Unit : BHU) の初代所長に就任されました。

ハンナ教授は BHU の所長として、さまざまな研究会、大学院生の受入れなど研究教育活動の傍ら、*Dictionary of Business Biography* 全 5 巻を刊行しました。イギリスを代表する経営者 1181 名に及ぶ詳細な伝記を収録しています。また 1958 年に Liverpool 大学から出版されていた雑誌、*Business History* の刊行も引き受け、BHU はイギリスの経営史研究のメッカとなりました。多くの研究者を輩出し、国際交流を進め、各国の経営史研究者が Unit を訪れました。一橋大学の米川伸一氏が 1979 年に BHU を訪れたのをきっかけに、その後多くの日本人研究者が訪れ、和田一夫氏（東京大学）、鈴木俊夫氏（東北大学）などはここを拠点に研究をされ、学位を取得されました。

ハンナ教授は 10 年間にわたり BHU の所長を務められましたが、その間 1984/85 年の 1 年、ハーヴァード・ビジネス・スクール (HBS) に招聘され、アメリカで研究されました。この間、所長の代理を務めたのが、ジェフリー・ジョーンズ (Geoffrey Jones) 氏でした。ジョーンズ氏は現在 HBS の経営史主任教授ですが、ルーツはロンドンの BHU であります。

ハンナ教授の研究は経済学の分野の Mark Blaug's *Who's Who* (1986-1999) で最も多く引用されている 3 人の中の一人というデータがあります。ネットでは Chandler vs Hannah という比較研究がヒットします。なぜなら経営史研究の泰斗、チャンドラーに最も果敢に議論を挑まれたのがハンナ教授であるからです。具体的な内容に触れることは出来ませんが、その一端は『見えざる手の反逆—チャンドラー学批判』（レスリー・ハンナ & 和田一夫著、有斐閣 2001）で知ることが出来ます。



高度経済成長期からバブル・平成・令和までの時代の空気を読む

『エコノミスト』 デジタルアーカイブズ

経葉デジタルライブラリ



創刊時から「ロンドン・エコノミスト」誌を目標に、「発行部数は少なくとも権威あるもの、言論のリーダーシップを取りうるものを作る」ことを目指し、発刊された**毎日新聞出版エコノミスト**のデジタルアーカイブが、週刊ダイヤモンド・東洋経済に続いて**経葉デジタルライブラリ**のラインナップに追加されました。

『エコノミスト』は、毎日新聞出版が発行するビジネス誌です。1923（大正 12）年 4 月に創刊され、2022 年現在まで通巻 4700 号以上にも及ぶ、長い歴史を持つ雑誌です。

経葉デジタルライブラリでは **1960 年代より 2020 年までをデジタルアーカイブズ**として順次提供開始します。詳細お問い合わせは弊社まで。



販売総代理店 極東書店

本社：東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル 営業所：関西・福岡

TEL 03(3265)7531 | FAX 03(3556)3761 | E-MAIL info@kyokuto-bk.co.jp

<https://www.kyokuto-bk.co.jp>

九州遺産 《近現代遺産編 101》

砂田光紀 幕末から昭和30年に築かれた、美しく、優しく、誇り高い施設や建物たち。背景に輝く人間のドラマ。人と歴史が織りなす近現代遺産の世界へ。

【10刷】2000円



◆近代化遺産の旅ガイドの必携書

産業遺産巡礼 《日本編》

市原猛志 全国各地離島まで含めて巡り歩いた遺産一万余から、身近な選りすぐりの200選。

2200円



熊本の近代化遺産 下

熊本産業遺産研究会・熊本まちなみトラスト「編」
「万田坑」や干拓施設、軍事施設、発電所群、学校、橋梁、灯台、天主堂など69の遺産を歴史背景とともに紹介。

1900円



熊本の近代化遺産 上

熊本産業遺産研究会・熊本まちなみトラスト「編」
「三角港」や「五高本館」、銀行、裁判所、写真所、発電所、銅山、鉄道を含む45の遺産を収録。

1900円



熊本地震 2016の記憶

岩岡中正・高峰 武【編】 2度の震度7と4000回超の余震。復興への希望は記録と記憶の中にある。【2刷】1800円

村野藤吾と俵田明 《革新の建築家と実業家》

堀雅昭 産業と建築と文化を融合させ人間中心の街づくりを旨とした二人の巨人の生涯。 2200円

日本の石炭産業遺産

徳永博文 北海道、福島、九州、沖縄各地に保存または放置された石炭関連産業施設 300 個所の調査からみる石炭の未来。 2200円

北九州の近代化遺産

北九州地域史研究会編 北九州市を門司・小倉・若松・八幡・戸畑の5地域で紹介。産業・軍事・商業・生活遺産 60 か所。 【3刷】2200円

筑豊の近代化遺産

筑豊近代遺産研究会編 筑豊の石炭産業の密集地に現存する遺産群を集成。巻末に筑豊の近代化遺産一覧表。 【2刷】2200円

地底の声 《三池炭鉱写誌》

高木尚雄 唯一坑内の撮影を許されていた著者が、愛惜を込めて写真で綴るヤマへの挽歌。写真 227 点。2500円 【3刷】

球磨焼酎 《本格焼酎の源流から》

球磨焼酎酒造組合【編】 500年の歴史を持つ球磨焼酎の魅力に迫る。文人墨客、庶民の呑み方も紹介。 1900円

弦書房
Genshobo

〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301
TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 <http://genshobo.com/>

◆ 図書目録・呈
◆ 表示価格は全て税別





総合電機企業の形成と解体

「戦略と組織」の神話、「選択と集中」の真

谷口明文編

A5判 定価6490円



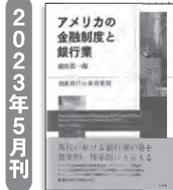
2023年8月刊

アメリカの金融制度と銀行業

商業銀行の業務展開

前田真一郎著

A5判 定価4180円



2023年5月刊

日本のマネジメント・バイアウト

機能と成果の実証分析

川本真哉著

A5判 定価4840円



2022年1月刊

経済史・経営史研究入門

基本文献、理論的枠組みと史料調査・データ分析の方法

岡崎哲一編／中林真幸・城山智子・山本浩司・松島 齊
青木浩介・市村英彦・粕谷 誠・谷本雅之・小島庸平
小野塚知二・中村尚史著

A5判 定価3190円



2022年3月刊

記憶を語る、歴史を書く

オーラルヒストリーと社会調査

朴 沙羅著

四六判 定価2530円



2023年3月刊

日本経営史 第3版

江戸から令和へ・伝統と革新の系譜

宮本又郎・阿部武司・宇田川 勝
沢井 実・橋川武郎著

Y[igrek]21 定価3960円



2023年5月刊

阿部武司著 戦前期商工信用録解題 —詳細とその活用法— 商工信用録類の学術的意義を明らかにする
B5判・並製 定価1,500円＋税 ISBN978-4-910672-25-0

新刊

【日本経済調査資料シリーズ8】民間会社の調査資料。明治40年代の商工業者、銀行、保険会社の資産・信用情報を網羅。
明治大正期 帝国信用録 第Ⅲ期 B5判上製 底本：『帝国信用録』（帝國興信社刊 明治42年・45年版）

●第1回配本（全5巻）明治42年・45年 定価（160,000円＋税） 総約3,200頁 ISBN978-4-910672-19-9

新刊

【日本経済調査資料シリーズ7】昭和前期の東日本を中心とした商工業者の信用情報を網羅。

昭和前期 商工信用録 第Ⅱ期 B5判上製 底本：『商工信用録』（東京興信所刊 昭和5年～昭和15年）

●第1回配本（全4巻）昭和5年 定価（120,000円＋税） 総約1,850頁 ISBN978-4-908823-80-0 C3333
●第2回配本（全4巻）昭和10年 定価（120,000円＋税） 総約1,800頁 ISBN978-4-908823-66-4 C3333
●第3回配本（全4巻）昭和15年 定価（120,000円＋税） 総約1,800頁 2023年1月刊 ISBN978-4-908823-01-4 C3333

【日本経済調査資料シリーズ6】昭和前期の西日本と外地の台湾・朝鮮・満洲の商工業者の信用情報を網羅。

昭和前期 商工資産信用録 第Ⅱ期 B5判上製 底本：『商工資産信用録』（商業興信所刊 昭和6年～昭和16年）

●第1回配本（全4巻）昭和6年 定価（120,000円＋税） 総約1,700頁 ISBN978-4-908823-33-6 C3333
●第2回配本（全4巻）昭和11年 定価（120,000円＋税） 総約1,700頁 ISBN978-4-908823-46-6 C3333
●第3回配本（全4巻）昭和16年 定価（120,000円＋税） 総約1,750頁 ISBN978-4-908823-53-4 C3333

【日本経済調査資料シリーズ3】明治・大正期の西日本と旧外地の企業信用情報がわかるソース・ブック。

明治大正期 商工資産信用録 第Ⅰ期 第1回配本 全6巻 ISBN978-4-905388-12-8 C3333

●定価（130,000円＋税） ●B5判・総約3,800頁 底本：『商工資産信用録』（商業興信所刊 明治42年～大正元年）

明治大正期 商工資産信用録 第Ⅰ期 第2回配本 全9巻 ISBN978-4-905388-19-7 C3333

●定価（195,000円＋税） ●B5判・総約5,700頁 底本：『商工資産信用録』（商業興信所刊 大正4年～大正14年）

【日本経済調査資料シリーズ4】明治・大正期の東日本を中心とした企業信用情報がわかるソース・ブック。

明治大正期 商工信用録 第Ⅰ期 B5判上製 底本：『商工信用録』（東京興信所刊 明治32年～大正14年）

●第1回配本（全4巻）明治32～44年 定価（100,000円＋税） 総約2,600頁 ISBN978-4-905388-29-6 C3333
●第2回配本（全4巻）大正4年 定価（120,000円＋税） 総約2,100頁 ISBN978-4-905388-75-3 C3333
●第3回配本（全4巻）大正7年 定価（120,000円＋税） 総約2,200頁 ISBN978-4-905388-89-0 C3333
●第4回配本（全4巻）大正9年 定価（120,000円＋税） 総約2,100頁 ISBN978-4-908823-00-8 C3333
●第5回配本（全4巻）大正14年 定価（120,000円＋税） 総約2,000頁 ISBN978-4-908823-10-7 C3333



近代日本の技術者と人材形成・人事管理

市原博著



近代日本の経済発展を支えた企業内技術者たちの人材形成とキャリア、職務行動はいかにマネジメントされてきたのか。技術の導入・開発をめぐる社内の人間関係を学歴の視点で分析。

A5判上製 334頁 5940円

近代中国の石油産業 自給への道

萩原充著 変動する近代の中国で、外資企業との攻防を背景に、急速な需要増加に対応していく石油産業の歴史を描き出す。百年間の「自給化への道」はなにを達成し、どこに限界があったのか。

A5判上製 320頁 6270円

近現代日本の地方産業集積 木工から機械へ

張楓著 産地型集積から都市型複合集積へダイナミックな転換・変動が進化したメカニズムを備後福山の下駄・家具・機械工業を事例に、産業史的見地から実証的に明らかにする。

A5判上製 436頁 8250円

戦前期都市銀行史研究 安田銀行を中心に

迎由理男著 第一次大戦期以降、都市銀行の再編過程で安田銀行がいかに蓄積構造を変容させていったか。取引先や地方金融市場、地方銀行との関係から、蓄積基盤の変容過程を明らかにする。

A5判上製 400頁 10230円

帝国日本の観光 政策・鉄道・外地

千住一・老川慶喜編著 帝国日本の拡大はいかなる観光を生み出し、観光はいかに帝国日本を支えたのか。内地、台湾、朝鮮、満洲、青島の観光開発、誘致事業、メディア表象を史的観点からひろく検討。

A5判上製 280頁 5390円

日独航空技術移転史 1919～45年

西尾隆志著 ドイツから日本への航空技術移転を、機体・エンジン部門を中心に実証分析し、日本航空機産業の自立化に果たした役割の意義と限界を軍事・技術・経済・政治史など多角的に考察する。

A5判上製 336頁 5940円

国際人的資源管理の経営史 戦前期日本商社の豪州羊毛ビジネス

若林幸男・大島久幸・山藤竜太郎編著 日本企業はグローバル人材をどう活用し管理してきたのか。豪州の羊毛買付事業を軸に戦前の兼松、三井物産、高島屋飯田、三菱商事の四商社を比較分析し、多角化多国籍企業論に一石を投じる。

A5判上製 292頁 6820円

日本経済評論社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-7-7 白揚第2ビル
 TEL 03(5577)7286 FAX 03(5577)2803 (価格は税込)
<http://www.nikkeihyo.co.jp> E-mail: info8188@nikkeihyo.co.jp

学内マップ



- AED(心臓救命装置)
- 検温
- レストラン
- 喫茶・軽食
- コンビニ
- 駐車場
- しょうがい者専用駐車場
- バス停